

広報 きたうら

昭和61年1月号 No.252

発行 北浦村役場 編集 調査企画室
茨城県行方郡北浦村山田2564-10 ☎311-17☎0291-5-2111(代)



村民憲章

- 心身を鍛え教養を深め
文化の香り高い村をつくりましょう。
- 北浦の湖水と緑豊かな環境を大切に
美しく清潔な村をつくりましょう。
- 時間ときまりを守り
秩序ある平和な村をつくりましょう。

- お互いに助け合いまごころの通う
明るい村をつくりましょう。
- 仕事に誇りをもち
活力ある村をつくりましょう。

村の花／きく、村の木／ひのき、村の鳥／うぐいす

特 集 新春座談会 年金制度が かわります

新春恒例の村内一周駅伝大会が1月15日行われました。今年のはじめて女子の部も登場し、39チーム、264人が初春の北浦路に健脚を競い合いました。さすがに中学生は速く、結果は次のとおりでした。男子総合第1位北浦中サッカー部A、2位根本鉾金A、3位Y.P.C。女子第1位北浦中ハンドボール部A、2位ハンドボール部B、3位バスケット部A。

スタート



新春座談会

北浦のきょうそして

あすを語る

出席者

高柳 庄衛さん (山田 48歳 自営業)	高柳 孝之さん (次木 38歳 農業)	前田 恵助さん (行戸 33歳 農業)	内野 和子さん (山田 39歳 主婦)	原 智子さん (小貫 34歳 主婦)	北浦村長 磯山伸知 司 会 宮内保雄 (調査企画室長)
-------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------------------

村に対する意見や ふだん思っていることは

司会 新年あけましておめでとうございます。今日は新春座談会ということで日頃思っていることなどお気軽にお話しただければと思います。

まず、村長さん、この一年はいかがでしたか。

村長 みなさん新年おめでとうございます。私もこの一月で就任一年となるわけですが、まあ、一年間多忙な日程に追われっぱなしというのが本場のところですよ。(笑い)これから二年目に入るわけですが、振興計画もありますし、段々に私の意見も入れて村政にあたって行きたいと思えます。

で、よろしく願いましたと思えます。

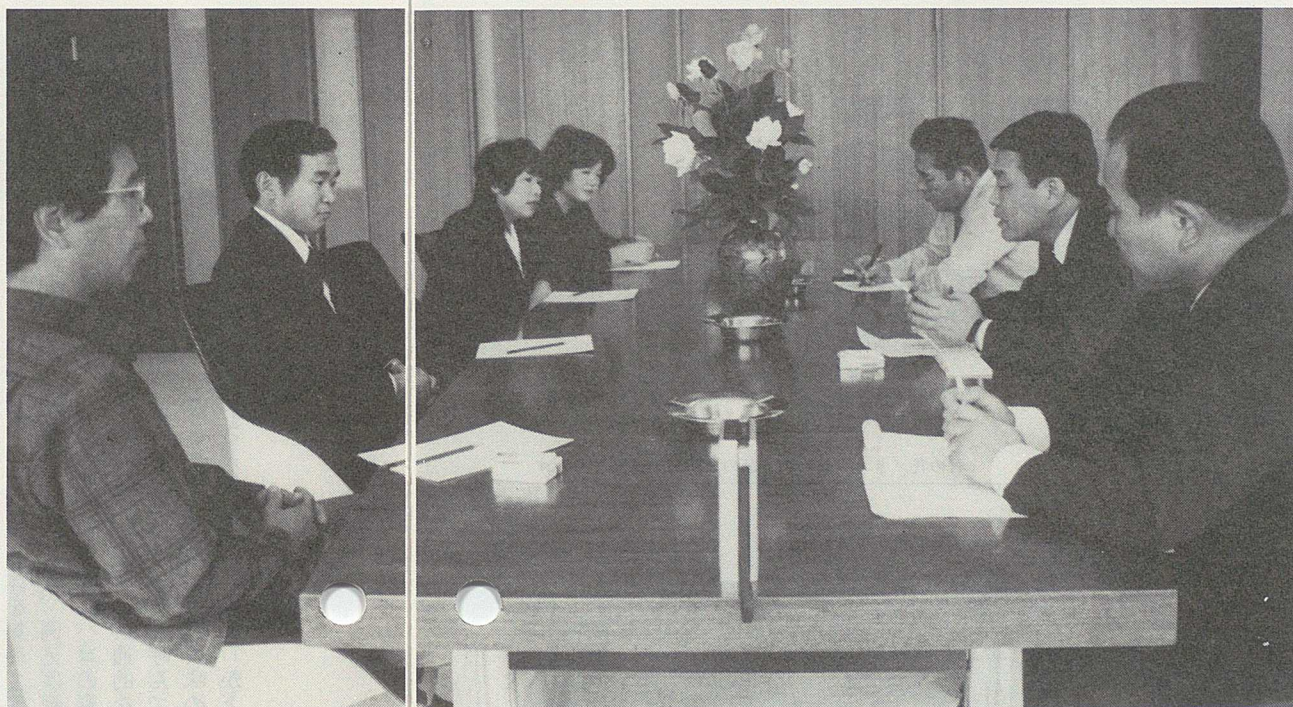
司会 それでは自己紹介をお願いします。

村長 村に対しては自己紹介をかねて、村に対する意見、あるいはふだん感じていることなど、店曲さんからお願いします。

店曲 次木でバラを作っている店曲です。バラ作りは十五年前から始めました。その前はミツバやタバコも作っていたんですが、その時はあまり感じなかったこともバラ専門になってみると、北浦の農業、もう少し考えなくてはならないんじゃないかと思うようになりました。特に土

地改良事業や各種の補助事業などですね。それから新しい北浦村振興計画を作ることですが、若い人の意見も入れた「俺達」がこれから先百姓していくのに、こういうふうにしたらもっといいんじゃないか。というふうな意見もぜひ取り上げてもらいたいと思います。今の農家は毎日が忙しい、忙しいで行政に目を向けている暇がないのが実状ですが、しっかりした基本を造るためにもお願いしたいと思います。

前田 行戸の前田です。主にミツバと中国野菜を中心に農業をやっています。役職がら(茨城県4日協会事務局長)で行政に首をつっこむ機会も



(笑い)

司会 今、お母さん方から子供さんのことが出ましたが、高柳さんはPTAの活動などでその辺のところは詳しいんじゃないですか。

高柳 高柳です。一口に子供の教育といっても幅が広いわけですが、特に昨年などは学校における「いじめ」の問題がマスコミにも登場し、教育の問題が大きくクローズアップされた年だったように思います。幸い北浦においては中学校においても小学校においても又幼稚園においても、まあそういう問題もなく進んでいるのが現状だと思いますが、これらがまったく無いということでも無いように思います。それから、これからはもっと真剣に子育て、教育を考えて行かなければならないときだと思います。各学区や学年にこだわらず地域の問題として一丸となつて対処して行くことが迫られているのではないのでしょうか。高校進学でも今はほとんどの子供が高校に上がりますがその反面退学する子供も増えている。茨城県でも夏休み前に一つの学校分ぐらい

の生徒が退学しているんですね。この辺もよく考えなくてはならない。また、農業後継者に関係して言えば、今は機械化で誰でも出来るとはいっても、子供のときから土に親しむというか農業の良い面を体で感じ取って行ってもら

ことも必要でしょうね。

司会 いろいろなご意見が出されましたが、現在村でも予算編成時期あるいは北浦村振興計画の策定時にあたっているわけですね。まず、当面の村の課題といったものからお話しただけですか。

北浦の農業 今とこれから

村長 まあ、村としては当面のおもとなる北浦村振興計画、これは十年計画ですが、それと本村は農業村なので、農業面を詳しく考えてみようかと農業振興計画を合わせ立ててみたいと考えております。それと、さらに大型補助事業として農村総合整備事業への取組み、ほかには、村民の皆さんの要望が多いことから総合的な運動公園の建設、さらには道路の整備や、教育施設の充実などを進めるのが課題と考えています。

村長 そうですね、振興計画の柔軟性という問題になりますが、基本線が引かれれば運用的な面でそれは可能なことだと思えます。さきほど店曲さんが言われたように、若い人の意見を常に聴くという意味でも、できればそうしたいですね。

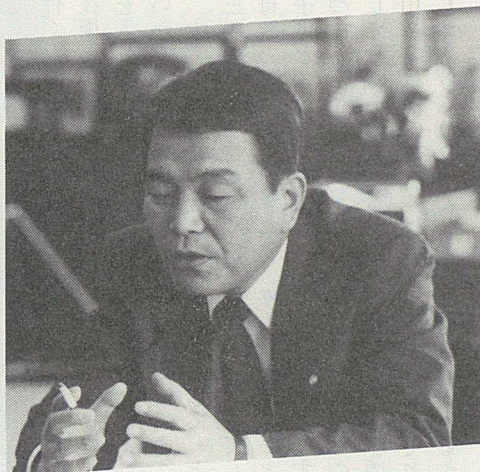
前田 若い人の意見なんです、ご存知のように4日などは二十五、六歳になるとみんな辞めてしまふ。そうなる働き盛りというか、これから本気で農業をやろうという人達の意見の交換の場がないんです。これからは、実際に農業をして行く人達の声を大事にしなければならぬと思うし、まとめるとなるとなかなか難しい問題ですね。特に

多いんですが、県内や他の県をみて、とても疑問に思っていることがあります。それは、基盤整備や補助事業でも、施設ばかりを作ることによって、はたして農村が豊かになるか、ということなんです。ただ田圃を押し広げ、それで北浦の農業振興が出来るかと言え、そういうことも大事なんですけど、もっと他に必要なものがあるんじゃないかと思うんです。例えば農業を営営して行く上での各種の情報とか、技術とか、そういうものを力を入れて行くべきなんじゃないかと感じています。

内野 中学二年の女の子と小学校三年の子供を持つ母親です。母親として最近思うことは、子供との意志の疎通がいま一つないんじゃないか、母親としてあげられることが沢山あるはずなんですけど充分してあげられないんじゃない

ないか、ということなんです。サラリーマンの家庭ですから親と子の接する時間も限られていますし、これから上の子供の受験期を控え、だんだん難しい時期にきているな、といった毎日です。

原 幼稚園と小学校一年の子供がいます。農業は私一人でやっているのでも店曲さんとか前田さんとは比べようがありませんが、やはり一人だけでは大変です。子供達は毎日兄弟ゲンカばかりしています。(笑い)たまに子供達が「こういうことがあったんだよ」と話しかけてきても「忙しいから後にして」と自分の感情ばかりで言ってしまうことが多く反省することの方が多いような気がします。大きいお子さんをお持ちの方から見ると「かわいい年頃ですね」と言われますがそれなりに大変なところもあるんですよ。



北浦なんかの場合はよけい難
しいように思います。
司会 農協には青年部という
ものがあるのでは。

々の役割をするという形でな
 いと、せっかくいいプランが
 あっても生きてこないと思ひ
 ます。

言つてあまりにも簡単なことでは「そんなことは毎日やつてゐるよ。」と（笑い）それほど多様化しているんです。経営

ころは農協が強いところですね。旭村のメロンがそうです。旭村のメロンと八千代町のメロンとでどこが違うかと言え

もらっています。兼業といつても農外収入が無いとやって行けないですね。かといって農業を止めて土地を手ばなす

- 4 -

農協の音頭でやっている。農協と農家は切り離せない、もちろん行政との係わりも切り離せない。そういう場合に、農協は農協、村は村でいろいろ進める。そういう感じですね今は。そうではなく、お互いの意見を交換し合っている、こう総合的なものがあって、それに基づいて各自が各

はある、タバコ耕作組合の青年部はある、ミツバ組合はあると沢山の団体があるんですね。そういう団体を集めて何かをやるとなれば、例えば野菜の話ばかりではタバコの青年部は面白くない。共通的な難しい話を偉い先生を呼んで聴きましょうとすると興味のある人しか集まらない、かと

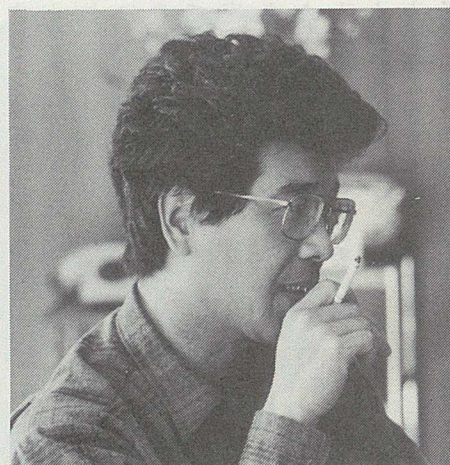
村長 このあいだ千葉のある農協へ視察に行きましたが、そこでは八割の農家が農協を通じて農産物を出荷しているそうです。そうすると品質も均一化するし質も良くなる。数もまとまる。結局高く売れるということなんです。

前田 はっきり言って茨城の農産物が有利に売れていると

でも、これからは農協の役割が大きくなるということです。ところで、原さんのお宅は、兼業農家でしたね……。

原　そうですね。面積は田畑を合わせて一町歩ほどですが、田圃も貸している方が多いくらいで自分で作るのは本当に食べるくらい。機械などは主人が休みのときにやって

店曲 今、原さんの言われたように農地は守っていかねければならない。これは農家はみんなそう思っています。当然売ることではできない。かと言つて作つて行くのも大変だ。これが現状だと思います。乱暴な話ですが私は以前こんなことを言っていたんです。「百姓をやめたい人は早くや



める。やめたほうがいいんだ。」と、で、やりたい人がほとんどその土地を借りて農地を拡張、機械を入れてやらなければお互いの首が苦しくなるじゃないかと。村にも農地利用銀行があるそうですが、これなんか名目だけでなく、真剣にお互いが考えられるように充分PRなりして行く努力が必要なんじゃないんですか。

村長 そのとおりだと思います。

前田 われわれが農業を始めた時、さつまいもを二町歩も作るの大変だと思ったのに今は十町歩も作る人がいる。ミツバは自分の家から畑が離れているとイヤだと思っただが、

今では牛久町の方まで行つて切ミツバを作る。それでやつていく時代なんですよ今は。ところがこの辺ではあまり土地を借す人がいない。新潟県なんかではそういうのが進んでいますね。なぜかと言うと、一反歩の田の賃貸が米四俵なんです。それでも採算がある。そういう方法もあるわけですから、やはり考え方しただいだと思います。

高柳　今までお話をうかがつてきましたが、やはりこれから土地の流動化をどう図つて行くかが問題ですね。私も三十年程前に「こんな農業では嫁さんも来ないよ。」と言つたんです。道は狭いし、稲刈

りの時などは長いナガラ棒を三百メートルも担いで行くんですから。（笑い）今は基盤整備もだんだん出来てきていいんですけで、まあ、あの当時から目を向けて基盤整備とか土地の流動化なんかを真剣に考えるべきだったと思います。ところが今は反対の人が多いんですね、しかし、今基盤整備をやらなければ、これから先どうしようもないと思うんですが、どうでしょう。

店曲 私 は、今の土地改良の進め方には疑問を持っています。もう少し将来を見越した有効な方法があると思うんです。ただ補助が付くから、あるいは予算が付くからではな

く、例えばライスセンタ―や協業組合などまで含んだ事業として考えて行ってもらいたい。土地改良が終つて機械化貧乏では困りますからね。

前田 私の場合は一反歩や二反歩の田圃を基盤整備してもしょうがないと思っています。これが一町歩とか二町歩ということになれば話は別ですが、それならむしろ畑作振興を先にしてもらいたいですね。

村長 ウーム、村では基盤整備

親として
思うっ

司会 今農業の問題などが話されたわけですが、これから先、この北浦の農業も含めて

備を推進しようとしているんですがなかなか難しいものですねエ。（笑い）
 高柳 いずれにしても、何はともあれ土地改良事業はやらなければならぬものではないでしょうか。今からでも遅くはないのですから。
 司会 話が大変むずかしい方向に行ってしまったが：（笑い）ここで少し話題を転換させてもらってもよろしいでしょうか。（笑い）

内野 そう言われると難しいんですが（笑い）今、母親として感じていることは、農業に關係して言えば食品ですね。食品添加物もいろいろ言われている時期ですから、自分の家で取れるものは自分の手でちゃんと調理して食卓にのせたいですね。それと子供のことでいえば、いま母親委員会ということで、原さんたちとも一緒にやっているんですが、子供の成長の上で一番大事な時期に、子供たちの親である私たちの共通の話し合える場というものが今までは、あまりにも少なかったんじゃないか、ということなんです。PTAの役員会とか父親参観ではお父さん方もいらつしやるんですが、その他の細かいことになると、やはり母親に全部きてしまうんですね。そこ



私達の頃は市町村の議員さんの数ぐらい新しく農業をはじめた人がいた。今では首長なみ。つまり一人か二人。この現実から話をはじめるなくては。

で、共通した悩みや気づいた点など一人で考えこんでいるお母さん方も意外と多いと思うんです。高柳 そうですね。御承知のように本年度北浦村連Pにおいて母親委員会が結成され、各学校で活発な活動が行われています。この前、中学校で第一回の母親教室を開きました。たが沢山の意見が出ましたね。内野 そうなんです。それほど問題というか子供たちのこ

今の学校は父兄を使います。運動場の草ぬきなど少々あぶないと思うことでも子供たちにやらせるべきだと思えます。やればできるんですから。



活動をしていますね。高柳 ええ、農業でも今やバイオ・テクノロジーとかコンピュータ時代といわれていますが、手で苗を植える、かまで稲を刈るという一連の作業のなかから、本質的な人と土、あるいは人と自然とのつながりといったものを学んでもらおうというところで行っています。前田 それは農業後継者をつくるという意味からも、これからもつづけて行ってもらいたいですね。（笑い）

とで考えなくてはならないことが多いんです。原さんが言われたように、小さい子供さんには小さい子供さんなりに受験期をひかえた子供さんにはその子供さんなりに、子供たちの問題、親の問題というものがあります。司会 受験といえは、今は中学生が塾に行きますね。原 そうですね。聞いてみると半分は本当に学校の補習というところも兼ねて行っている子供もいますが半分は親が「行け」と言うから行っているという子供さんもあるようですね。（笑い）高柳 そういうことは高校の受験にもつながる問題ですね。親が入りたい学校に子供を入れる。子供はそれほど行きたくないのに（笑い）昔の登校

行政というのはやはり縦割りばかりに気を使っているように見えますね。見方を変えればいろいろなアイディアがある筈。それを大事にしてもいい。



拒否は本当のなまけ者（笑い）というのか、そういうものだった。今は精神的悩みのある子供の登校拒否がふえているんです。北浦にはないかもしれないが他では多い。というのでは、いずれはそういう子供が出てきてもおかしくない。司会 話は変わるかもしれない。高柳 話は変わりますが、私は学生時代柔道をやってたものですから、柔道のスポーツ少年団をみています。はじめはいやいや引き受けたという所もあるんですが、やっぱり子供はかわいいですね。今はこれをやっ

い話しを聞きますが、まず何より子供とふれあうということが一番大切なことではないでしょうか。内野 それはそうですね。子供と対話しましようと言ってお互い面と向つても、それはできませんものね。（笑い）司会 話が変わりますが、もう一つあるんですが、はじめはよその子供さんにゲンコツをやるころが近ごろはそれができるようになった。やっぱり子供は子供なりに見えているんですね。いいことはいい。悪いことは悪いと。ある人がこう言ったんです。「子供を育てるのも仕事だなあ。私も近ごろつくづくそう思います。高柳 これからはただ子供を育てるというのではなく、子

供はかけがいのない財産、という考えで育てて行かなくては行けませんね。前田 それから農家の子供がイネの育ち方を知らない、ということが無いようにしたいですね。（笑い）

村長 まあ、今は子供の一人一人の個性をその子供に合った方向にいかにつけていくことが大切になってきていることは確かだね。司会 中学校では勤労体験学習で米を作るなどユニークな

人（ひと）VS 村（むら）

司会 農業後継者という話が出ましたが、このへんはみなさんどうお考えになりますか。村長 一口で言えば「魅力のある農業」にする、ということが第一でしょうが、これも

子供といつしよにいい時間を大切にしたいですね。農業をしていると意外とこういう時間が少ないものですから。それと自分の時間も大切にしたいですね



子供といつしよにいい時間を大切にしたいですね。農業をしていると意外とこういう時間が少ないものですから。それと自分の時間も大切にしたいですね

活動をしていますね。高柳 ええ、農業でも今やバイオ・テクノロジーとかコンピュータ時代といわれていますが、手で苗を植える、かまで稲を刈るという一連の作業のなかから、本質的な人と土、あるいは人と自然とのつながりといったものを学んでもらおうというところで行っています。前田 それは農業後継者をつくるという意味からも、これからもつづけて行ってもらいたいですね。（笑い）

大きな視野でこれからの北浦を考えられる人を育てて行くんです。司会 話が変わりますが、もう一つあるんですが、はじめはよその子供さんにゲンコツをやるころが近ごろはそれができるようになった。やっぱり子供は子供なりに見えているんですね。いいことはいい。悪いことは悪いと。ある人がこう言ったんです。「子供を育てるのも仕事だなあ。私も近ごろつくづくそう思います。高柳 これからはただ子供を育てるというのではなく、子



子供は親をみて、社会をみて育つもの。子育ても農業後継者も同じこと。まず、今の私達ができる、してやれることは何か。それを考えるのが私達の役目。

司会 話がはずんでいるところなんです。時間も残り少なくなってきましたので、ここでいちおう座談会を終了したいと思います。最後に村長さんから一言お願いします。村長 みなさんお忙しいところ、長時間お話しさいましてありがとうございます。特別結論が出たというわけでは

司会 みなさんありがとうございます。一同 ごくろうさまでした。※座談会の内容は編集させていただきました。



新しい年金制度 ①

制度改正の 四本の柱

今年の四月から公的年金制度が変わります。
今回の改正は、今後、高齢化社会を迎えるなかで、公的年金制度を長期的に安定したものに改革することを目的としています。
主な改正点は①「基礎年金」制度の導入——従来の国民年金の適用を広げ、すべての国民が加入する②給付水準と保険料負担の適正化③婦人の年金権の確立④障害年金の充実——などです。

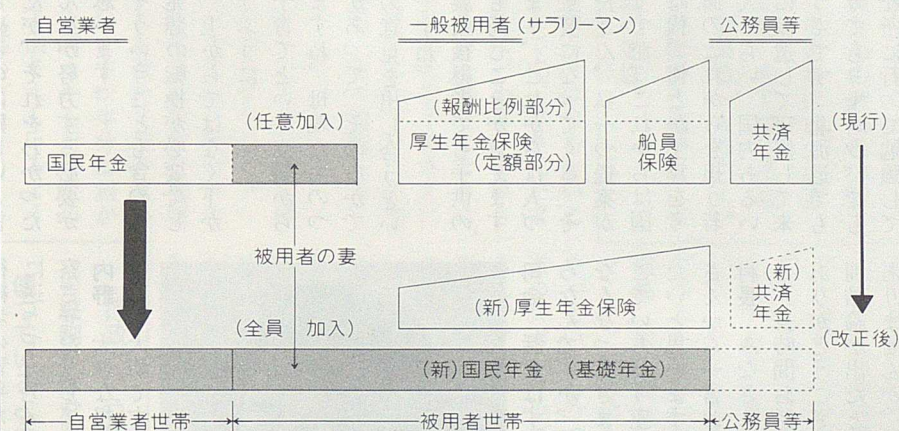
今後、三回にわたって「新しい年金制度」を紹介します。

1 サラリーマンも国民年金に加入 ■基礎年金制度の導入

今回の改正で「基礎年金」制度が導入されます。基礎年金とは、今までの国民年金に自営業者等だけでなく、サラリーマンやその奥さんなども含めた国民（被保険者）すべてが加入し、共通の給付として支給されるもので、国民すべてで年金の基礎部分を支えているというものです。
この結果、厚生年金保険は国民年金の上に乗り、加入期間分の「報酬比例の年金」を支払った保険料額に応じた年金を支給する二階建ての新体系となります（第1図参照）。また、船員保険は厚生年金に統合されます。なぜこのような改革が必要なのでしょう。

今までの公的年金制度は、サラリーマンなどを対象とする厚生年金、船員を対象とする船員

第1図 新しい年金制度のしくみ



(注) 船員保険の職務外年金部門は厚生年金保険に統合されます。

保険、公務員などを対象とする四種類の共済組合、および自営業者、農業者などを対象とする国民年金に制度が分かれていました。

そして、各制度ごとに給付と負担の設計が行われていたために、結果的に制度間にさまざまな格差が生じていました。また、制度が職域を中心としてタテ割

りてつくられているため、産業構造の変化や、それにもなう就職構造の変化に対応できない部分がありました。例えば、国鉄共済組合や船員保険の被保険者の減少は、制度の財政基盤を不安定なものにしていました。その他にも、制度が分かれているため、一人の人が複数の年金を受けるケースなどが生じており、その適正な調整を行う必要があるといった問題もありました。

■基礎年金制度のメリット

こうした問題を解決するため導入された基礎年金制度のメリットを見てみましょう。
(i) 制度間の格差が是正できる
各制度共通の仕組みなので、すべての国民にとって給付の条件や負担が等しくなります。
(ii) 就業構造の変化による影響を受けにくい
自営業者もサラリーマンも一緒に、ある業種の被保険者が減少しても基礎年金部分へは影響が及びにくくなります。

(iii) 一人一個の基礎年金が確立される
重複給付などを防ぐことができます。

2 現状のままだと負担増に

■給付と負担の適正化

今回の改正では、年金の給付と負担を適正化するために、サラリーマン世帯の場合、標準的な年金額が現役勤労者の平均賃金の六八%という、現在の水準程度が将来にわたって維持されるようになりました（第2図参照）。

■適正化を図る背景

現在、年金受給者の平均加入年数は三十二年ですが、今後は四十年程度が一般的になると考えられます。現状の給付水準をそのまま続けていくと、将来の年金額は、現役勤労者の平均賃

金の八割以上にもなります。さらに、奥さんが国民年金に四十年間加入していたとすると、夫婦合計の年金額は現役の平均賃金の一〇九%になってしまいます。

現役勤労者と年金受給者の生活費の内訳を見ても、現役勤労者は賃金から税・社会保険料を引かれ、さらに子供の教育費や住宅ローンなどを払っていかなければならないかもしれません。これに

年金受給者は、税法上優遇されている上に年金保険料の支払いを要せず、家計も老夫婦二人の生活を維持していけばよい。これらのことを考えると、現役勤労者の平均賃金の八割や十一割というのは、いかにも高い給付水準といわざるをえません。

■ピーク時には四倍の負担に

また、このような高水準の給付を支えるためには、現役世代の保険料負担をピーク時（昭和百年ごろ）には現在の四倍程度に増やさなければならなくなり、負担面からみても、現行制度の構造的水準は高すぎるということができます。

このような状態にならないために、給付や負担の水準を適正化することが必要なのです。

3 奥さん名義の年金が持てます

■婦人の年金権の確立

改正前の制度では、サラリーマンの奥さん（専業主婦）は、国民年金に任意加入しない限り、自分名義の年金は持てませんでした。

今回の改正では、サラリーマンの奥さんを含む国民が国民年金に加入することになり、それぞれの名義の基礎年金の支給を受けることができるようになります。

ります。これにより、万が一サラリーマンの奥さんが離婚したり、障害者となった場合でも、従来のように国民年金に任意加入していないと無年金になるということはなくなり、奥さん名義の老齢基礎年金や障害年金の支給を受けることができます。

4 障害基礎年金の適用を拡大

■障害年金の充実

二十歳未満で障害者となった方は、今までは二十歳を過ぎても低額の障害福祉年金しか受けられませんでした。これらの方も改正後は、二十歳以後に障害者となった方と同額の障害基礎年金が支給されることとなりました。

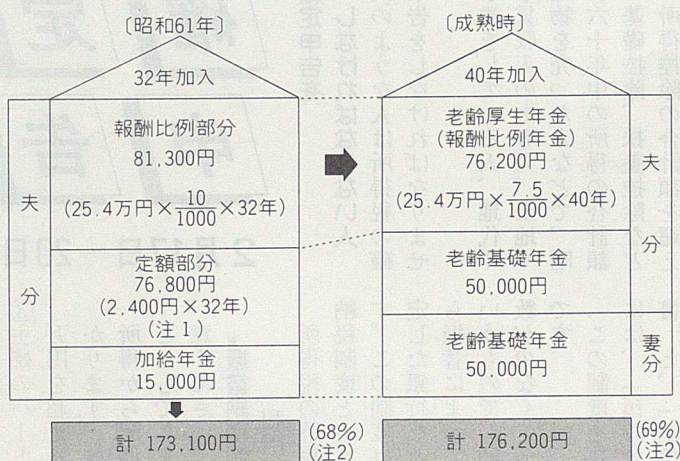
■障害基礎年金の拡大

障害福祉年金	障害基礎年金
1級障害 38,400円/月	→62,500円/月
2級障害 25,600円/月	→50,000円/月

(注) 月額はずべて昭和59年度価格です。



第2図 サラリーマン世帯の標準年金額



※金額はいずれも昭和59年度価格

(注1) 昭和55年改正時の単価2,050円を昭和59年度価格に換算したもの

(注2) %は現役男子の平均標準報酬月額254,000円に対する比率

確定申告

2月17日～20日

確定申告を

しなければならない人
次のような人は所得税の確定申告をしなければなりません。

①事業をしている人、地代や家賃収入のある人、土地や建物を持った人などで、昭和六十年中の所得の合計額が基礎控除、扶養控除などの所得控除の合計額を超える人。

②サラリーマンで、給与の年収が一千五百万円を超える人や二か所以上から給与を受けている人、給与以外の所得金額が、年間二十万円を超える人。

なお、サラリーマンでも雑損控除や医療費控除、住宅取得控除などが受けられる人は、確定申告をして税金の還付を受けることができます。

③主婦のパート収入は、九十万円を超えると所得税がかかります。また、ご主人の所得から配偶者控除をすることもできませんのでご注意ください。

「振替納税制度」を

利用しましょう

所得税の納税方法に、振替納税制度というものがあります。この制度はあらかじめ指定した銀行などの預金口座から振替によって納税できるといふもので、納税のための手数が少なくて済み、大変便利です。

この制度を新たに利用するには、「預貯金口座振替依頼書」と、「納付書送付依頼書」を、預金先の金融機関または所轄の税務署に提出してください。

所得税の 納税相談

2月17日～20日

※17日は営業・農業 他は農業

場所：北浦村役場

生徒募集

県立水戸南高校(通信制)

働きながら高校を卒業できます。

茨城県立水戸南高等学校
(通信制)

願書受付

3月3日～4月4日
年配者も多数学んでいます。
お気軽にお問い合わせください。

〒310

水戸市白梅2-10-10
茨城県立水戸南高等学校
(通信制)

☎ 0292-47-4675・6173

村政懇談会を開催します

これからの村づくりをどのように進めるか、村では、現在、新しい総合計画を検討しています。その資料にするため、先には、住民アンケートを実施しましたが、さらに村民の皆さんの生の声を村長が直接うかがい、村政運営の参考にしよう、次の日程により「村政懇談会」を開催することにしました。多数のかたがたのご出席をお願いいたします。

日	曜	時 間	地 区	場 所
2. 5	水	午後7:00	吉 川	吉川集荷所2階
6	木	7:00	繁 昌	北浦村公民館津澄分館
7	金	7:00	中 根	中根公民館
8	土	2:00	山田二	北浦村役場
8	土	7:00	山田三四	天王宿児童館
9	日	7:00	行 戸	行戸中央公民館
10	月	7:00	小 幡	北浦村公民館要分館
11	火	7:00	南高岡	南高岡児童館
12	水	7:00	北高岡	北高岡児童館
13	木	7:00	両 宿	北浦村公民館武田分館
14	金	7:00	内 宿	内宿公民館
15	土	2:00	成 田	成田田園都市センター
15	土	7:00	三 和	帆津倉集落センター
16	日	7:00	長野江	長野江田園都市センター
17	月	7:00	次 木	次木営農センター
18	火	7:00	小 貫	小貫地区学習センター

人口の動き

住民基本台帳調(12月末)

人 口	11,144
男	5,567
女	5,577
世帯数	2,424
転 入	18
転 出	16
出 生	15
死 亡	13

○新しい年、みなさんは何か目標をお立てになりましたか。村では座談会にも出しましたが、北浦村振興計画、農業振興計画など、大きな目標を立てる年になります。
○二月五日から十八日までの村政懇談会には、たくさんの方のご出席をお待ちしております。

あともがき

